

5月14日（木）

ノーテレビ



ノーゲームデー

5月のノーテレビ・ノーゲームデーです。

ぜひ、ご家族で楽しいだんらんや読書のひととき等を持たれることを期待しています。

裏面に「簡単な手品」を載せていますので挑戦してみてください。

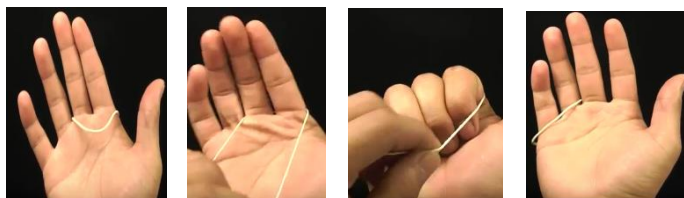
ご家族でチャレンジしてみませんか？【簡単な手品】

1 いどうする輪ゴム

＜用意するもの＞・わゴム

＜手順＞

1. どちらかの手のひとさしゆびとなかゆび、またはくすりゆびとこゆびに、わゴムをかけます。
2. ただのわゴムであることをアピールするために、見ている人のがわや自分のがわにも引っばります。
3. 次に手をグーにして、おやゆびいがいのゆびをのばしたわゴムの中に入れます。(ここがポイント)
4. 手をパッと広げるとほかの指にいどうしています。見ている人には、しゅんかんいどうしたように見えます。



2 鉛筆をつきさしても水がもれないビニール袋

＜用意するもの＞

- ・ポリエチレンのビニールぶくろ (スーパーのふくろづめコーナーにまかれているふくろ)
- ・先のとがったえんぴつ2〜3本
- ・水



＜手順＞

1. ビニールぶくろへ水をたっぷり入れて手にもち、おもむろにえんぴつをとりだします。
2. 「今から、このえんぴつをビニールぶくろにつきさします！でも、まほうのねんりきをおくっておけばだいじょうぶ。むむむ〜！」なんて言いながら、おもいっきりえんぴつをつきさします。
3. すると、ふくろがやぶけたり水がもれたりすることなく、何本もえんぴつをつきさすことができます。

3 くつついちゃった鉛筆

＜用意するもの＞・えんぴつ1本

1. えんぴつをみんなに見せ、タネも仕掛けもないことを確認する。手の甲を外側に向け、片手でえんぴつをにぎりゆっくりと指を開くとえんぴつが落ちてしまうところを見せる。
2. 「今から、このえんぴつにくつつくまほうをかけます」と説明し、えんぴつにまほうをかける。
3. グッと力を入れて片手でえんぴつを握り、ゆっくりと指を開く。えんぴつがくつついている手を上下に振り、落ちないところ(くつついているところ)を見せる。



＜タネあかし＞

えんぴつがくつついている手の手首をにっている手の人差し指で、イラストのようにえんぴつを押さえる。



パートⅡ

＜用意するもの＞

- ・えんぴつ1本、わゴム、わりばし

1. 「今から、このえんぴつにくつつくまほうをかけます。」と説明し、えんぴつに魔法をかける。

※「くつついちゃった！鉛筆」の後にやる場合は、「今度こそ本当に魔法をかけるよ。」など、1回目から続くような言葉かけをする。

2. 手の甲を外側に向け、グッと力を入れて片手でえんぴつを握り、反対の手で手首を握る。えんぴつを握っている方の手から順番に両手を広げてはなす。



4 ビヨーンッ！動く割り箸

＜用意するもの＞・わりばし、わゴム、ホチキス

1. 割り箸を片手に持ちにぎる。
2. 「さあ、この割り箸をよく見ていてください！」と言いながら、割り箸に注目させる。
3. 少しずつ力を抜いていくと…割り箸がどんどん上にあがってくる！？



＜タネあかし＞

1. 動く割り箸を作る。
2. 割り箸の持ち手部分(太い方)に輪ゴムを乗せ、写真のようにホチキスでとめて固定する。
3. 親指に輪ゴムをかけて、割り箸を握る。
4. 割り箸からはみ出ないように、輪ゴムを引っ張り伸ばす。
5. 少しずつ力を抜いていくと…割り箸が動いているように見えるよ。

5 色水マジック

＜用意するもの＞・透明プラスチックコップ2個、ハンカチ、はさみ、油性ペン(何色でもOK)、水

1. 透明なプラスチックコップに水を入れる(なぜ色が付いているのかはタネあかしでのお楽しみ…♪)
2. 「さて魔法をかけるとこのお水はどうなるでしょうか？3・2・1！」と言いながらコップにハンカチをかぶせる。
3. ハンカチをパッとはずすと、あれ？色水が透明に！！



＜タネあかし＞

1. 透明のプラスチックコップ1つに切り込みを入れフチと底部分を切り取る。
2. 1に油性ペンで色を塗る。
3. もう1つのコップの中に水を入れ、その中に2を入れる。まるで色水みたい…！
4. ハンカチをはずす時に色を塗った2を一緒に取り出す。

